

## 平成27年度 教員免許状更新講習「学校教育と体験活動B」

### 1 趣旨

社会の発展とともに子どもを取り巻く環境は大きく変化した。特に、自然体験活動の経験が減少し、自然や人との関わりから得られる知恵や知識、能力が身に付かず、「社会性」や「生きる力」が十分に育っていない子どもが多くなっている。

そこで、本講習では学校教育における体験活動の意義を再認識するとともに理解を深め、実際の教育現場での活用の仕方について考える。そのために、大学教員や自然の家職員の講義に加え、自然の家で実施している「自然体験活動プログラム」や冬の活動を実際に体験することによって、体験活動についての基本的な考え方や指導技術等を身に付ける。

### 2 主催

国立大学法人 宮城教育大学

### 3 共催

独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立花山青少年自然の家

### 4 期日

平成28年1月23日（土） [日帰り]

### 5 場所

国立花山青少年自然の家

### 6 参加対象と人数

免許状更新対象者（幼稚園、小学校、中学校、高等学校教諭） 20名

### 7 参加状況

|     | 宮城県 |   | 宮城県外 |   | 計  |   |
|-----|-----|---|------|---|----|---|
|     | 男   | 女 | 男    | 女 | 男  | 女 |
| 受講者 | 9   | 6 | 3    | 2 | 12 | 8 |
| 計   | 15  |   | 5    |   | 20 |   |

### 8 日程

| 時刻    | プログラム                   | 内容等                                     | 場所    |
|-------|-------------------------|---|-------|
| 8:30  | 受付開始                    |   | 玄関ロビー |
| 9:00  | 【開講式】                   | インフォメーション                               | 大研修室  |
| 9:10  |                         | 諸連絡（事務局）                                |       |
| 9:10  | 【講義1】<br>「学校教育と体験活動」    | 講師<br>宮城教育大学<br>准教授 本田 伊克               | 大研修室  |
| 10:10 | 【実習1】<br>「アイスブレイキングの手法」 | 講師<br>国立花山青少年自然の家<br>企画指導専門職<br>村上 卓    | 大研修室  |
| 11:10 | 【講義2】<br>「体験学習法の理解」     | 講師<br>国立花山青少年自然の家<br>主任企画指導専門職<br>狩野 浩二 | 大研修室  |
| 12:00 |                         |   |       |

|       |                                 |   |      |
|-------|---------------------------------|---|------|
| 12:40 | 【実習 2, 3】<br>「火起こし体験」<br>「焼板作り」 | 講師<br>国立花山青少年自然の家<br>企画指導専門職<br>村上 卓    | 工作館  |
| 14:10 | 【実習 4】<br>「雪上ハイキング」             | 講師<br>国立花山青少年自然の家<br>事業推進係長<br>佐藤 英樹    | 屋外   |
| 15:40 | 【実習 5】<br>「ふりかえり」<br>(評価と反省)    | 講師<br>国立花山青少年自然の家<br>企画指導専門職<br>村上 卓    | 大研修室 |
| 16:10 | 【試験】<br>「筆記試験」                  | 担当<br>国立花山青少年自然の家<br>主任企画指導専門職<br>狩野 浩二 | 大研修室 |
| 16:50 | 【評価】<br>「アンケート記入」               | 担当<br>国立花山青少年自然の家<br>主任企画指導専門職<br>狩野 浩二 | 大研修室 |
| 16:55 | 【閉講式】                           | インフォメーション<br>諸連絡 (事務局)                  | 大研修室 |

## 9 実施状況

### (1) 宮城教育大学との連携・協力



宮城教育大学 本田イク准教授による講義  
【講義 1】「学校教育と自然活動」

宮城教育大学との連携事業であり、講習時間は6時間である。

今回は県内外から20名の免許更新対象者が受講した。毎回、宮城教育大学と国立花山青少年自然の家それぞれの特徴や教育資源を生かし、互いに連携・協力し合いながら講習を実施している。主に知識・理解に関する部分は大学が担当しており、今回は、本田イク准教授による「学校教育と自然活動」と題する講義において体験活動の意義や効果についての理解を深めた。

### (2) 自然の家の特色を生かした体験活動の実施

自然の家職員による講義や実習では、本田准教授の講義をふまえ、実際に自然の家で行われている自然体験活動プログラムをとおして体験学習に対する理解や実践を行った。まず、初めて出会った受講者同士が交流し合うことを目的とした「アイスブレイク」の実習を行った。この実習をとおして受講者同士のコミュニケーションをとりやすくし、グループワークを行いやすい雰囲気づくりができたとともに研修の目的の共有化を図ることができた。また受講者が新学期あるいは様々な場面でアイスブレイクの手法を活用したいという声が聞かれた。

次に、自然の家で実施している自然体験活動プログラムの目的や方法、具体的な実践に関する講義を行った。「火起こし」「焼板作り」「雪上ハイキング」の体験では、活動の前はそのプログラムの効果や安全管理等の説明を行い、理論と実習を組み合わせ実施した。受講者自身が児童・生徒の立場になって体験活動の教育的効果と有効性を実感することができた。



【実習1】「アイスブレイキングの手法」



狩野浩二主任企画指導専門職による講義  
【講義2】「体験学習法の理解」



【実習2】「火起こし体験」



【実習3】「焼き板作り」



【実習4】「雪上ハイキング」説明



【実習4】「雪上ハイキング」実際

## 10 成果と課題

### (1) 成果

- ・大学と自然の家が連携協力することにより、それぞれの専門性を生かした講習を実施することができた。今回も受講者からは高い評価を得ている。
- ・講義では教育現場で活用できる内容を吟味し提供した。受講者も高い意識をもって実習に臨んでいた。また、体験活動を通して受講者相互の交流も深めることができた。

### (2) 課題

- ・冬場の開催ということもあり、道路状況等を心配した。天候を考慮した運営、受講者の安全等について配慮し、日程等の調整が必要である。